



ふじみ自然塾 だより

2022.7.4

第19-1号

発行；富士見市民大学
ふじみ自然塾
編集；同 企画運営スタッフ
発行日；不定期

1. ふじみ自然塾 開講

6月18日13:30～15:50に鶴瀬公民館第3集会室において、第45期市民大学ふじみ自然塾を開講した。

受講のしおりにもとづいてオリエンテーションを実施し、講座時の注意事項や、コロナ対策のため施設の利用制限・雨天時等に伴う講座内容等の変更など、特別研修コースと実習農場について説明した。さらに、無肥料自然栽培や有機栽培などの概要を説明した。

また、受講の動機やこれから始まる講座に対する希望など、アンケートを記入いただいた。



写真①；オリエンテーション

2. 第2回講座 キュウリ苗の植付ほか

6月25日は猛暑が予想されたため、先生と日程を調整のうえ、13:30～の計画を9:30～に時間帯を変更して、農業実習を実施した。

第1実習農場では研修生が栽培中のキュウリと枝豆を見学、第2農場でも長ネギ・里芋・ミニトマト・万願寺トウガラシ・オクラ・ナス・キャベツ・大根などを見学した。また、スタッフからナスの手入れ方法などレクチャーをした。

そのうち、先生がお見えになり、第1農場へ戻って、キュウリ苗の植付を行う。先生の植付実演・指導の後、皆で1株ずつ慎重に丁寧に、苗を植付け水やりをした。植付け後は、苗への直射日光を避けるため、支柱に遮光ネットを取付けた。

作業終了後に、自己紹介と感想を述べあい、11:00に



写真②；キュウリ苗植付の実演

散会した。

3. 第3回講座(合同講座)

大豆の種まきほか

7月2日も猛暑が予想されたため、14:30～の計画を1時間遅らせて15:30～第1実習農場で、大豆の種まきなどを行った。

まず、事前に除草しておいた大豆栽培地を、先生に耕耘機をかけていただき、その後クワで畝を作り、大豆の種まきを行った。種まき後は、乾燥防止と発芽時に鳥に食べられぬように、遮光ネット(一部不足箇所には防虫ネット)を掛けた。さらに、エンジンポンプを使って、たっぷり水やりをした。

大豆栽培地の耕耘と同時並行して、第2回講座時にキュウリ支柱に取付けた遮光ネットを取外し、補助支柱を立て、キュウリ苗の誘引を行った。

大豆栽培地の水やりと同時並行して、第2農場で大根



写真③；ネット掛け作業

を1本ずつ収穫していただいた。ほかに、スタッフが準備した野菜もお土産に17:20散会した。

なお、当初計画の人参の種まきは、時間が足りず、来週の特別研修で実施することにした。